

収支計算書の決算額と予算額の差異に関する注記
(差異が予算額の30%を超える科目につき注記した)

- 1 満期が到来した貸付信託、定期預金が多数あった。
- 2 会誌、論文集などの図書のほかシンポジウムテキスト DVD の売上が加わり、売上額が見込みを上回った。
- 3 論文の投稿数が見込みを下回った。
- 4 研究委員会のシンポジウムが予想を下回った。
- 5 参加者数が見込みを上回った。
- 6 受託事業収入、研究委員会分担金など年度の途中で実施が決定した予算計上外の事業収入を雑収入に計上した。
- 7 年度あたりの積立額を見直したことによる。
- 8 情報伝達方法を極力電子媒体化することに努めた。
- 9 役員選挙用の切手購入代、後納郵便料金が見込みより少額だった。
- 10 振込み手数料等の経費の節減を図った。
- 11 委員会等の会場使用料、茶菓代の節約に努めた。
- 12 計画されていた一部の講座、シンポジウム等が実施されなかった。
- 13 ホームページの製作、更新の一部が行われなかった。
- 14 論文集の印刷費、発送費が見込みを下回った。
- 15 事業にかかる用役をボランティアで実施した。
- 16 今年度は実施されなかった。
- 17 啓蒙書の出版関係費用が予想を下回った。